



9月 2日 (日) 8時から

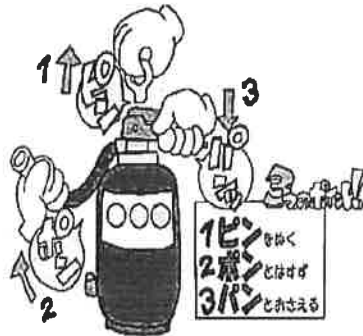
防災避難訓練を桜地区一斉に実施します。各自治会の指示で参加をしてください。

大地震が発生した場合、最も恐ろしいのは火災です。各家庭・事業所において出火防止対策を積極的に行うとともに、火災が発生した場合にすぐに消火できるよう、初期消火方法を習得しておきましょう。

更に、救護方法についても習得しておくこと、不慮の事故に遭遇した場合に適切な対処ができます。

消火器の使い方

- ①ハンドル部の安全ピンを抜く
- ②ホースを外し、火元に向ける
- ③ハンドルを握る



注意

消火器には、火災の適応表示がされています。確認しておきましょう。

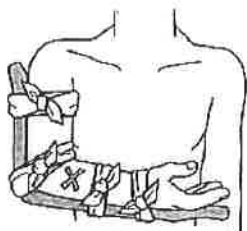
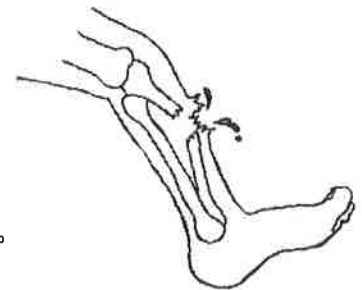
- 白色：普通火災
- 黄色：油火災
- 青色：電気火災

救護 (応急手当)

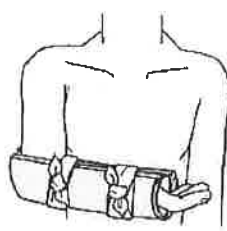
医療機関で診療を受けるまでの処置です。正しい手当でなければ、かえって容体を悪化させたり、命に関わることにもなりかねません。地区で実施している防災避難訓練・防災フェスタでも訓練講習をしておりますので、体験をしてみてください。

1、骨折に対する応急手当

- ①骨折の部位や出血の有無を確認します。
 - ・確認する場合は痛がっているところは動かさない。
 - ・痛み、はれ、変形などのほか、骨が飛び出していることもあります。
- ②副木をあて、骨折部を三角巾などで固定します。
 - ・副木は、骨折部の上下の間接が固定できる長さのものを用意します。
 - ・固定するときは、傷病者に知らせてから固定します。
 - ・副木がない場合は、新聞紙や雑誌、棒、板、傘、バットなど身近なものを利用します。



副木で
腕
の固定



雑誌を利用した
前腕部
の固定



三角巾などで
腕を
つるす

裏面につづく

回 覧							

防災ニュース「きらら」は単独で回覧をお願いします。

2、負傷者の搬送

搬送を行う際は、患者に動揺を与えず、運び終わるまで患者を観察しましょう。

・いすを利用する



・横抱きで搬送する
乳幼児や小柄な人は
横抱きにして搬送する

・1名で搬送する
背部から後方に移動さす
方法で、おしりをつり上げる
ようにして移動さす。



・毛布、シーツを利用する
傷病者の状態、けがの部位により…



・背負って搬送する
傷病者の両腕を交差
又は平行にさせて両手
を持って搬送する。



・手を組んで搬送する
傷病者の頸が前に倒れる恐れがあるので気道の確保に注意して、2名がお互いに歩調を合わせ、搬送に際して傷病者に動揺を与えないようにします。

・2名で搬送する
傷病者の前後を抱えて搬送する

